

議会運営委員会会議録（平成21年8月5日開催）

I 開催日時

平成21年8月5日（木）10時00分～11時00分

II 開催場所

役場 4階 中会議室

III 出席者

委員長：山谷 仁、副委員長：高橋 寿

委員：日向清一、遠藤秀鬼、柳村 一、佐々木 剛、黒沢明夫

議長：角掛邦彦、副議長：川原 清

事務局：太田局長、高橋次長、岡田主任主査

傍聴者：なし

IV 説明員：佐野峯総務部長、加賀谷総務課長

V 協議

1 開 会 太田局長

2 挨拶

山谷委員長：早速、協議事項にはいっていきたいと思います。暑い中ですので、上着、ネクタイをとるなど結構ですので、協議を進めていきます。

角掛議長：今日は議運、全協そして夜のPTA連合会との懇談会と多忙な一日となりますがよろしくお祈いします。昨日、議会制度調査検討部会より報告書が提出されました。短い期間での調査でありましたが、詳細にわたる調査ありがとうございました。今後議会運営委員会で検討をよろしくお祈いします。

山谷委員長…出席委員の確認をする。全委員出席し定足数に達しているのので、本委員会は成立する。

3 協議事項

(1) 次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項について

① 平成21回第18回滝沢村議会臨時会（8月6日）の議会運営について

ア 議案の提案説明

佐野峯総務部長より提案予定の議案等について説明された。

佐野峯部長：工事請負契約の議案2件、一般会計の補正予算の専決処分の承認1件、報告1件を予定している。

山谷委員長：質疑ありますか。＜質疑なし＞

山谷委員長：各議案並びに承認の取り扱いは即決として審議し、報告は報告を受けることで、異議ありませんか。【異議なし】

山谷委員長：異議なしと認めます。よってそのようにいたします。

イ 説明員の出席要求について

山谷委員長：説明員の要求は、村長と教育委員長とすることで、異議ありませんか。【異議なし】

山谷委員長：異議なしと認めます。よってそのようにいたします。

② 平成21年第19回滝沢村議会定例会（9月）の議会運営について

ア 議案の提案理由説明

佐野峯総務部長より提案予定の議案等について説明された。

佐野峯部長：現在のところ、議案12件（補正予算10件、条例改正2件）、各会計決算認定10件、報告3件を予定している。

その他ですが、決算認定で昨年もありましたが、当初で予算措置したものが、補正予算で皆減した場合、決算書にシステム上表示されません。表示するとした場合、システムの改修が必要となり数百万円の経費を要しますし、表示する規定とはなっていないことから、別紙として補則資料として添付したいと考えています。ご理解ご了承をお願いします。近隣の自治体では、表示している所としていない所それぞれであります。

山谷委員長：質疑ありますか。〈質疑なし〉

山谷委員長：議案等の取り扱いは、1週間前の議運で決定します。【異議なし】

イ 会期日程、会議日程について

太田局長より、会期日程（案）・会議日程（案）について説明

山谷委員長：質疑ありますか。〈質疑なし〉

山谷委員長：一般質問の通告者数により、日程は変更があり得ますのでご理解願います。日程は1週間前の議運で決定します。【異議なし】

ウ 請願、陳情について

山谷委員長：現在、請願、陳情の提出はありません。今後提出があった場合は、1週間前の議運で取り扱いを決定します。【異議なし】

エ 議員発議について

山谷委員長：現在、発議の提出はありません。今後提出があった場合は、1週間前の議運で取り扱いを決定します。【異議なし】

〈総務部長・総務課長退席〉

オ 決算審査特別委員会の設置について

山谷委員長：委員会の構成については、先例により議長と議会選出の監査委員を除く20名で構成し、また、正副委員長は各常任委員会での輪番制としていますので、今回の決算審査特別委員会は、教育民生常任委員会の正副委員長が正副委員長となるとしてよろしいでしょうか。【異議なし】

山谷委員長：それぞれそのようにし、1週間前の議運で決定します。【異議なし】

(2) 閉会中の継続調査について

① 議会の活性化について

ア 議会制度調査検討部会調査報告について

山谷委員長：昨日、議会制度調査検討部会より報告書の提出があり、本日、配布しておりますので、黒沢部会長より報告書について説明願います。

黒沢委員（部会長）：部会では、滝沢村議会の定数、報酬、政務調査費が他の議会と比較しどの位置にあるのか、人口等の類似町村、類似市並びに近隣町村を選定し比較しました。調査結果は報告書のとおりです。考察で示したとおり、具体的な方向性までは結論として導き出すことはできませんでしたが、なお継続し調査検討が必要という結論となりました。当初、部会において、住民からの意見も聴く予定としていましたが、この意見を聴く機会は次の段階と議運委員長からも指示があり、部会では実施しませんでしたので考察にもあるように、速やかに意見を聴く機会としての懇談会等を開催することを望みます。以上簡単ではありますが報告します。

山谷委員長：調査検討並びに報告ありがとうございました。質疑ありますか。〈質

疑なし>

山谷委員長：この報告書を踏まえ、議会運営委員会において特別委員会を設置し、なお調査検討を進めるか決定することになります。まずは、この報告書を熟読いただき、また会派内での協議などを行っていただき、1週間前の議運にて特別委員会の設置について協議していきたいと考えますが、これよろしいでしょうか。【異議なし】

山谷委員長：異議なしと認めます。よってそのようにいたします。

イ 活性化の取り組みについて

山谷委員長：資料について、事務局より説明願います。

太田局長：活性化の取り組みについて、各会派並びに議員よりの報告を一覧にしました。網掛けの部分は、全一致で取り組みを進めるという項目ですので、進め方を協議願うことと、網掛け以外の項目についての今後の取り扱いについて協議願います。

山谷委員長：網掛け部分は、全会派等で一致していますが、全体の進め方について意見をお願いします。

柳村委員：懇談会について会派ですり合わせるとしても、どの時期から開催できるか決めてはどうか。また、採決結果の公表は、全会派賛成なので早い時期から実施すべきではないか。また、常任委員会の顛末の公表も進めてはどうか。

黒沢委員：採決の公表は、議会広報で公表するのか。

岡田主任主査：現在計画している議場の放送システム等の整備が予定どおり実施できれば、12月定例会から議会映像が中継されますので、映像的にはその時点より公表となりますし、映像とは別に9月定例会の結果から公表すると決定されれば、議会広報並びにホームページでの公表が想定されます。

高橋副委員長：広報特別委員会との調整が必要ではあるが、9月定例会から実施してはどうか。また、公表の範囲を結果のみとするか、出欠についても公表するか検討する必要がある。出欠についても公表するべきである。

山谷委員長：公表は採決結果のみでいいのではないか。

遠藤委員：出欠席も公表しないと公平ではないと思う。

日向委員：我が会派では、出欠席等も合わせて公表するべきとの考えである。

佐々木委員：採決での賛否、棄権、出欠席を公表することでよいのではないか。

山谷委員長：採決における賛否、棄権並びに出欠席について9月定例会より、議会広報及びホームページで公表することでよいか。また、常任委員会等の顛末もホームページで公表することでよいか。【異議なし】

山谷委員長：そのように決定します。その他ありますか。

柳村委員：以前の協議でも出されたが、議場システム等の整備のセレモニー的に、成人議会の開催を進めてはどうか。

山谷委員長：時期はいつが適当か。

高橋副委員長：成人議会とすれば、成人式の前後がいいのではないか。

太田局長：あくまでも私案ではありますが、成人に議員席に座ってもらい、理事者側に各常任委員会の正副委員長と村長、各部長が座り、成人からの質問に対し答弁してはどうかと考えています。

角掛議長：補則になりますが、質問は通告を受け対応してはと考えています。そこで議会としての答弁が必要となるので、私見は入れず常任委員会の正副委員長が答弁してはと考えている。議会側で答弁できない部分は、執行部をお願い

してはどうか。

高橋副委員長：議会の活性化で取り組む事項なので、議員全員が出席し対応した方がよいと考える。

柳村委員：私は、成人に議会並びに議員の立場を体験してもらうことに重きをおいて、答弁は村長や部長が行ってはどうかと思う。議員は傍聴することではどうか。

角掛議長：執行権の関係もあり、議員が答弁できることとできないことがあるので、議員も答弁するし、村長等からも答弁願うことではどうか。

黒沢委員：22人の議員が、答弁者側に座り対応するべきではないか。

角掛議長：実施する方向で、全委員賛成のようですので実施に向け進めるものとし、詳細については今後検討することでよいのではないか。

山谷委員長：成人議会については進めることとします。その他ですが、春緑クラブからの報告にもありますが、定例会終了後の振返りについて協議します。

高橋副委員長：春緑クラブより意見しましたので、内容を説明しますと一般質問は通告のとおりに行われていたか、質疑の内容は適当であったかなどを確認する意味で振返りが必要ではないかということです。

山谷委員長：これについて意見をお願いします。

黒沢委員：この振返りは実施する必要がある。これも活性化のひとつである。

佐々木委員：通告以外の発言があったかなどの検証は必要であるが、それ以上になると制約が多くなり、議員が萎縮してしまい活性化に逆効果になるのではないかと懸念される。

角掛議長：前向きな検討ありがとうございました。傍聴者からのアンケート、意見もいただき非常にありがたいことなので、この意見に対しても対応できるよう是非振返りは実施していただきたいと考えます。

山谷委員長：アンケートの内容も踏まえ、会派でこの振返りについて協議をお願いします。

※ 議会の活性化の取り組みで、実施することで決定し詳細について、今後検討することにした事項

- ① 自治会との懇談会（議会報告会）の開催
- ② 情報の開示（本日からの常任委員会等の顛末の公表）
- ③ 成人議会の開催
- ④ 会議の出欠席・採決（賛成・反対・棄権）の公表（9月定例会からの結果について、議会広報及びホームページで公表）

(3) その他

① 会議等の連絡方法について

山谷委員長：以前協議し結論を出していませんでしたが、会議等の連絡方法については、現行とおりの通知並びに連絡方法とし、その他議員が個人でその他の連絡方法を希望する場合は、議会事務局に申し出て対応することでよいか。【異議なし】

山谷委員長：そのように決定します。以上で議会運営委員会を閉会します。